

1. 科目名（単位数）	認知心理学特殊研究（2 単位）	3. 科目番号	PSMP8220
2. 授業担当教員	太田 信夫		
4. 授業形態	講義、講読演習、実験実習を、適宜行う	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・ 他科目との関係	履修条件は特になし		
7. 講義概要	Dynamic Cognitive Processes (Eds. N.Ohta, C.M.MacLeod, B.Uttl, 2005, Springer)をテキストとし、受講生は認知心理学の小実験を計画から実施、レポート作成まで行う。本書は、国際的に現在アクティブに認知研究をしている数十名の研究者が、各自の最新の研究を紹介し、理論的な考察を展開している。受講生は、本書を参考にして、各自の興味のある研究を取り上げ、実験を遂行する。本授業では、認知心理学の国際的な研究動向の把握、認知心理学実験の遂行能力と認知心理学的思考能力の向上を主な目的とする。		
8. 学習目標	テキストを読み、内容をよく理解する。 実験を行い、レポートにまとめる。		
9. アサシメント （宿題）及びレポート課題	テキストの内容について、レジュメを作成すること。 自分の行った実験について、目的、方法、結果、考察に関してレポートにまとめること。		
10. 教科書・参考書 ・教材	【教科書】 Dynamic Cognitive Processes (Eds. N.Ohta, C.M.MacLeod, B.Uttl, 2005, Springer の必要部分をコピーしたもの、を、教材として用意する（テキスト購入の必要はない）		
11. 成績評価の規準と 評定の方法	○成績評価の規準 認知心理学的な知識と技能がどれだけ身についたかが、主要な規準となる。 ○評定の方法 テキストのレジュメ、実験レポート、出席状況について、評価をする。 レジュメー30%、レポートー60%、出席ー10%		
12. 受講生への メッセージ	心理学研究の難しさ、面白さ、楽しさを実感してほしい。		
13. オフィスアワー	授業終了後、3 時間程度		
14. 学習の展開及び内容【テーマ、学習の目標、学習の内容、キーワード、学習の課題、学習する上でのポイント等】			
1. テー マ	Chapter 11 Conscious and Unconscious Processes in Hypermnesia(pp.249-271)－1		
【学習の目標】	本論文の概略をつかむ。		
【学習の内容】	Introduction		
【学習の課題】	Introduction をまとめる。		
2. テー マ	Chapter 11 Conscious and Unconscious Processes in Hypermnesia(pp.249-271)－2		
【学習の目標】	レミニッセンスの概念を説明できる。		
【学習の内容】	Reminiscence is the Product of Conscious Searches		
【学習の課題】	学習内容をまとめる。		
3. テー マ	Chapter 11 Conscious and Unconscious Processes in Hypermnesia(pp.249-271)－3		
【学習の目標】	レミニッセンスと意識の関係について説明できる。		
【学習の内容】	Reminiscence Does Not require Conscious Searches		
【学習の課題】	学習内容をまとめる。		
4. テー マ	Chapter 11 Conscious and Unconscious Processes in Hypermnesia(pp.249-271)－4		
【学習の目標】	本論文の結論について説明できる。		
【学習の内容】	Conclusion		
【学習の課題】	Conclusion をまとめ、コメントをする。		
5. テー マ	Chapter 9 Encoding Deselection and Long-Term Memory(pp.191-217)－1		
【学習の目標】	本論文の概略をつかむ。		
【学習の内容】	Introduction		
【学習の課題】	Introduction をまとめる。		
6. テー マ	Chapter 9 Encoding Deselection and Long-Term Memory(pp.191-217)－2		
【学習の目標】	記憶と注意分割の関係について説明できる。		
【学習の内容】	Varieties of Memory and division of attention		
【学習の課題】	学習内容をまとめる。		
7. テー マ	Chapter 9 Encoding Deselection and Long-Term Memory(pp.191-217)－3		
【学習の目標】	非選択と意識の関係について説明できる。		
【学習の内容】	Consequences of deselection		
【学習の課題】	学習内容をまとめる。		
8. テー マ	Chapter 9 Encoding Deselection and Long-Term Memory(pp.191-217)－4		
【学習の目標】	非選択 効果について説明できる。		
【学習の内容】	deselection effects		
【学習の課題】	学習内容をまとめる。		

9 . テ ー マ	実験実習（１）
【学習の目標】問題の所在を明確にする。 【学習の内容】目的と仮説を立てる。 【学習の課題】目的と仮説についてまとめる。	
10 . テ ー マ	実験実習（２）
【学習の目標】方法を明確にする。 【学習の内容】適切な方法について学ぶ。 【学習の課題】方法についてまとめる。	
11 . テ ー マ	実験実習（３）
【学習の目標】実験計画を精練する。 【学習の内容】実験計画の立て方について学ぶ。 【学習の課題】実験計画についてまとめる。	
12 . テ ー マ	実験実習（４）
【学習の目標】実験の準備ができる。 【学習の内容】実験材料、実験装置などの作成について学ぶ。 【学習の課題】実験の準備についてまとめる。	
13 . テ ー マ	実験実習（５）
【学習の目標】実験の実施ができる。 【学習の内容】実験の実施 【学習の課題】実験結果とその分析についてまとめる。	
14 . テ ー マ	実験実習（６）
【学習の目標】パワーポイントで発表できる。 【学習の内容】上手に発表できる仕方について学ぶ。 【学習の課題】発表とそれに対する質問についてまとめる。	
15 . テ ー マ	実験実習（７）
【学習の目標】投稿論文形式で、研究論文を作成できる。 【学習の内容】論文の書き方について学ぶ。 【学習の課題】論文を完成させる。	